



夏季における水難事故防止について

栃木県内の令和5年中の水難事故発生状況

- ・令和5年中は、10件10人（うち6人死亡）の水難事故が発生しました。
- ・年齢層別では50歳以上の中高年者が5件5人、場所別では河川が7件7人、行為別では魚とり・釣りが5件5人で、それぞれ最多となっています。



夏季における水難事故の特徴

- ・夏の時期は水に親しむ機会が増えるため、県内では河川における魚とり・釣り中や水遊び中の事故が多発する傾向にあります。
- ・川の上流で大雨が降ると、雨の降っていない下流でも急に流れが速くなることや増水することがあります。

水難事故を防止するポイント

○小学生以下の子供に対する注意

- ・あらかじめ水辺で遊ぶ危険性について話しておきましょう。
- ・必ず保護者が同伴し、目を離さないようにして下さい。

○中学生や高校生に対する注意

- ・泳げないのであれば、その場の雰囲気の流れに無理して水に入らないこと、特に、「遊泳禁止」の場所では絶対に水に入らないことなど、若さゆえの無茶をしないようご家庭で指導してください。

○魚釣りや水遊びの際の注意

- ・体調が優れないときは、水に入るのを控えてください。
- ・水に入る際は、ライフジャケットを必ず正しく着用してください。
- ・川の上流の空が暗くなったり川が濁り始めたりしたら、すぐに岸に上がりましょう。

○飲酒後の水遊びは厳禁

- ・アルコールは、判断力、運動能力を低下させます。
バーベキューなどで飲酒した状態で川や海に入るのは絶対にやめましょう。

